

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「身体拘束委員会」を立ち上げているが、まだ各スタッフへの浸透が十分ではなく、拘束についての基準が明確でない部分が多い。	まずスタッフが身体拘束についての基本的知識を持ち、拘束を極力しないケアを行う。	月例会議やミーティングの中でも「身体拘束をしないケア」についての学習時間を持ち、テキストやDVD等も活用する。 外部研修が再開されたら、スタッフが参加する。	6ヶ月
2	7	業務多忙により、入居者への対応に思うように時間がかけられない事が、不適切な言葉遣い等の虐待につながりかねない。	業務内容を見直し、出来るだけ穏やかな対応、適切な言葉遣いでケアを行う。	現在の業務で無駄な動きや作業を削減し、少しでも余裕を持ってケア出来る体制作りを進める。 又、スタッフ間での言葉遣いにも注意し、気分良く働ける環境を作る。「虐待防止」の勉強会を継続する。 外部研修が再開されたら、スタッフが参加する。	6ヶ月
3	26	介護計画作成までの、ご家族からの要望、スタッフからの情報収集が十分でない。	ご家族からの情報を更に集める。 各スタッフからの情報量を増やす。	ご家族を交えたカンファレンスが難しい状況なので、ご家族来訪時に現状報告と共に要望を聞き出す。 各スタッフからの小さな情報をもっと介護計画作成につなげる。	6ヶ月
4	36	入居者個々の人格の尊重やプライバシーの保護について、まだ十分でない部分がある。	スタッフ全員が入居者の人格の尊重やプライバシー保護の正しい知識を身に着け、ケアに生かす。	月例会議などで学習の時間を設ける。 外部研修(社協などの)が再開されたら、スタッフが参加する。	6ヶ月
5	35	災害対策でまだ改善の余地がある。 夜間想定避難訓練が実施できていない。	今年度内に「夜間想定訓練」を実施する。 居住空間を安全な状態に保つ。	出勤者の多い日を作り、訓練を行う。 強い地震が発生しても安全が確保出来る様に居室やフロアのレイアウトを見直す。 災害対策の講習に管理者やスタッフが参加する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。